

## 『夏だ。さあキャンプに行こう!』

いよいよ夏本番。夏のプランはもう立てましたか。

宮崎は自然に恵まれた地形なので、様々なアウトドアスポーツやアクティビティーが楽しめますが、夏と言えばキャンプ。県内にはたくさんのキャンプ場が点在しており、どれもが整備された快適できれいなキャンプ場です。今回はその中でもちょっとユニークなキャンプ場をご紹介します。

まずは県北門川町から。

「夢人島（むじんとう）サバイバルアイランド乙島（おとじま）キャンプ場」。門川町の乙島は通常は無人の島ですが、夏場のみキャンプ場としてオープンします。無人島とはいえ、水洗トイレやシャワーは設置してありますので女性でも安心。島の周りには大小7つの海蝕洞窟がありとても神秘的です。その気になれば、究極のサバイバルキャンプも体験できるかも。



門川町役場HP：<http://www.town.kadogawa.lg.jp/industry/map/page000915.html>

電話：0982-63-1140（門川町役場 まちづくり推進課商工観光係）

次は少し南へ下って川南町の「青鹿（せいろく）自然公園」。

青鹿ダムに近く、ハイキングやツーリング、サイクリングに最適なロケーションです。非常にシンプルで飾り気のないキャンプ場。では一体何が特別なのかというと、2棟あるコテージも含めて使用料がなんと無料なのです。無料だからといって侮ってはいけません。掃除の行き届いたトイレと炊事場も設置してあります。利用に際しては必ず問い合わせをして利用申請をしてください。

[http://www.town.kawaminami.miyazaki.jp/node\\_119/node\\_4946](http://www.town.kawaminami.miyazaki.jp/node_119/node_4946)

電話：0983-27-8011（川南町役場 産業推進課）

川南から更に南下し、宮崎市を過ぎて日南市へ。

廃校になった海のそばの小学校でキャンプができる「うしおのもりキャンプ場」。

2011年に閉校した潮（うしお）小学校が、鶴戸地区の自立活性化を目指したコミュニティ交流の場として「潮の杜（うしおのもり）」として生まれ変わりました。校庭でのキャンプ場としてだけでなく、校舎内にはタイレストランやカーヌー工房、フラダンス教室などもあり、とてもユニークで斬新なスポットです。海辺でのキャンプも満喫しつつ、本格的タイ料理や、マリンスポーツ、地域一体化のイベントなど、楽しみ方が盛りだくさんです。

潮の杜HP：<http://www.ushio.co/camp/>

電話：0987-67-4608



山のキャンプなら熊本県境のえびの市へ。

ここはアメリカ？と錯覚してしまう「矢岳高原ベルトンオートキャンプ場」。

標高約700メートル、矢岳高原の大パノラマの中に位置するこのオートキャンプ場は、えびの市の姉妹都市であるテキサス州ベルトン市にちなんで作られており、管理棟を始めとして、いたるところにウェスタン風の工夫が凝らしてあります。霧島連山を一望できる絶好のロケーションで、宿泊はもちろん日帰りでも十分楽しめるキャンプ場です。

えびの市役所HP：<http://www.city.ebino.lg.jp/display.php?cont=140328153942>

電話：0984-37-1033

自然の中のキャンプは、忙しい日常から離れて心身ともに解放される最高のリラクゼーション。

きっと素敵な夏の思い出ができることでしょう。

このコーナーへのご質問、ご意見、ご要望は：(公財) 宮崎県国際交流協会  
TEL 0985-32-8457 FAX 0985-32-8512 E-mail [miyainfo@mif.or.jp](mailto:miyainfo@mif.or.jp)